

進捗報告書（実行団体）

事業名:	伴走支援付き住居・生活支援事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人POPOLO
実行団体名:	NPO法人POPOLO
実施時期:	2021年 10月～2022年 2月
事業対象地域:	静岡県
事業対象者:	ひとり親世帯、生活困窮者など

Version 1.2

日付: 2021年12月31日

I. 事業概要

事業概要
静岡県焼津市に支援つき賃貸住宅9部屋、静岡県静岡市に日常生活支援住居施設（無料低額宿泊所）として6部屋開設し、もともと静岡県内12市と広域実施している富士市にある一時生活支援事業の施設と連携させた、富士-静岡-焼津の隣り合う地域に、3種類の制度内、制度外の支援つき住居を用意する。これにより、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている住居喪失不安定就労者、ひとり親世帯、賃貸物件の契約が難しい方などあらゆる方の住まいに関わる相談に対応できるインフラを構築することが本事業の目的である。

II. 進捗報告の概要

総括
全体として、耐震工事や内装工事日程の遅れはあるが、想定していた活動を順次進めている。懸念点は、工事の遅れにより、入居者をどのタイミングで入れていくのかという部分に関して、部屋自体は使えるが、耐震工事は終わっていないという不確定な見通しの中で、家に困っている人を優先するのか、耐震工事を終えてから入れるべきかという難しい判断を迫られている。変化に対応しうる事業計画への更新検討を、現場の声を確認しながら実施をしていく予定。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
・支援つき住居15部屋中5部屋以上の利用があり、利用者の安心した生活が送れる状況を援助する ・支援付住宅が新しく焼津市・静岡市で開設され、利用開始となる ・富士-静岡-焼津での連携のもと安定した運営ができる ・支援人員の研修により、充実したサポートの準備ができる	・耐震工事が終わってからになるが、1名希望者がいる。耐震工事の際に、現入居者2名が深刻な生活困窮状況にあることがわかり、支援の必要性からそのまま現在も入居を認めた。よって現在3名の入居。 ・現在、静岡市には無料定額宿泊所の条例のみがあり、静岡市の無料定額宿泊所の要綱が整っていないことから、静岡市と協議し要綱作成をおこなってもらっている。申請用紙が確定次第提出予定。焼津市とは順調に支援つき物件を保有することをつたえ、運用面で協議中 ・まだ支援つき住居の工事関係が完成していないため、富士-静岡-焼津の連携した運営は未実施 ・北九州市のNPO法人抱樞への視察は完了。ワンファミリー仙台への視察は新型コロナウイルス感染拡大でめどが立っていない。2月末までの実施は難しい状況で変更を余儀なくされる。

活動	進捗状況	概要
①物件の取得および耐震工事、内装等の室内整備の実施	遅延あり	工事の計画よりも2週間程度の遅れが出ている。 内装は2月中にそれでも完了する目途が立っているが、 耐震工事に関しては3月上旬までずれ込む状況
②入居案内のパンフレット作製	遅延あり	内装工事の遅れから、写真撮影が遅れている。 パンフレットの構成自体は完了しており、残りは写真撮影のみ
③先進的な取り組みをしている、NPO法人抱樞、NPO法人ワンファミリー仙台へ実際の支援現場を学ぶための視察を行う	ほぼ計画通り	計画通りにNPO法人抱樞に視察にいき、ノウハウを学んできたが、 ワンファミリー仙台への視察は、 新型コロナウイルス感染拡大により、視察受け入れを行ってもらえない状況
④周辺自治体への事業実施の広報（富士市、静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、吉田町、牧之原市あたりを想定）	計画通り	近隣自治体には、休眠預金事業により物件の取得および支援つき住居の解説の事業説明をおこなうことができた
⑤入居開始 生活支援および見守り付き住宅提供	遅延あり	まだ住居の耐震工事が終わっていないため、遅れている状況。 入りたいという希望者自体は現在1名。その他耐震工事の関係で、取得物件に住んでいた2名の入居者が生活困窮状態で、引っ越しをさせるよりも、支援つき住居に澄夫続けた方が良い状況だということを発見した。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>（団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい）</p> <p>静岡県焼津市－静岡市－富士市周辺地域の住居喪失不安定就労者、ひとり親世帯、高齢者、障がい者などの方で賃貸物件の契約が難しい方や生活・就労相談などの支援を受けながら生活したい方々を対象とし、15部屋中12部屋以上の利用を目標を掲げ、利用者の安心した生活が送れる状態を援助します。</p> <p>という1年後の目標を立てたが、現在建物の整備を行っている段階であるが、支援対象者から日々家が借りられない、DVで避難場所を探しているなどの相談を受けていることから、本事業の意義を感じている</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥98,045,000	¥98,045,000	¥69,709,976	71%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	0%
合計		¥0	¥98,045,000	¥98,045,000	¥69,709,976	71%
補足説明		耐震工事や、内装工事の遅れにより、未執行の分がまだ29%ほどありますが、問題なく2月末までに支払いは完了できます				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>（1）耐震工事等の遅れの発生 → 対応 業者に対して、工程表を再度提出させ、裁定案の期限順守の確認を行った。</p> <p>（2）新型コロナウイルス感染拡大によるマンパワーが不足するリスク</p> <p>①定期的な抗原検査の実施 ②相談者や訪問者への検温、消毒の実施</p> <p>③事業実施者のワクチン接種の奨励（信条等で打たない選択をしている職員を除く）</p>

VII. その他

自由記述
進行が少し遅れているので、リカバリーしていきたいと思います。

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	現在チャンネル登録者数30万越えのYOUTUBERから取材依頼が来ている為近日中に撮影を行う予定です
広報制作物等	有	現在、内装工事の遅れにより写真が撮影できていませんが、作成中です 部数はフルカラー1000部を予定でしています
報告書等	無	事業が完了していないため作成していません

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	